

2025年度入試

# 入学試験問題集

【大学院心理学研究科 修士課程】



東京成徳大学大学院  
心理学研究科臨床心理学専攻

## 目 次

修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験 英語 .....	1
修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験 小論文 .....	4
修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験 専門科目 .....	5
修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験 英語 .....	8
修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験 小論文 .....	11
修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験 専門科目 .....	12
出題意図・解答例.....	16

# ●修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験

【英語】（試験時間：60 分）

問題 1 以下の英文を読んで設問に答えてください。

“(ア) Friendship is unnecessary, like philosophy like art. It has no survival value; rather, it is one of those things that give value to survival.”

—C.S.Lewis

“Things would be so much better if I could just find him one friend.” Heroic Parents desperately search for a (イ) peer who will accept and play with their son and daughter with (1) \_\_\_\_\_, Asperger Syndrome, Pervasive Developmental Disorder (PDD) or Non-Verbal Learning Disability. They dream that an understanding friend will serve as a crucial relationship bridge.

The sad truth is that you cannot (ウ) acquire friends as if they were objects or possessions. And you cannot just place a child with (エ) severe social deficits in the presence of a typical (イ) peer or in a normal social setting and assume he will gain the skills and motivation to be a friend. Many people do not realize (オ) the complex integration of skills required for friendship. Unfortunately there are no shortcuts or easy solutions. Friendship, even for the most capable of us, requires hard work in order for us to obtain even minimal payoffs. And for those born with (1) \_\_\_\_\_, Asperger Syndrome or PDD, the odds are stacked against them from birth.

(中略)

We reviewed the extensive research done in Developmental Psychology over the last 25 years, on the development of friendships. We distilled our findings into ten skill areas that encompass the qualities of children and adolescents who are successful in finding and maintaining friendships. These skills progressively build upon one another over a period of many years. The skill areas are: (i) \_\_\_\_\_, (ii) \_\_\_\_\_, Reciprocity, Repair, Co-Creation, We-go, Social Memories, Maintenance, Alliance and Acceptance. Below, we provide a brief description of each area:

(i) \_\_\_\_\_

Friends must be enjoyable, exciting companions. Children with enthusiasm and an upbeat mood are valued, even if they have other deficits or limitations. Friends strive to find ways to make positive emotional connections with their peers. The nature of the connection changes developmentally, with collaborative play giving way to conversations involving humor, shared interests, emotions and problem solving about relationships.

(ii) \_\_\_\_\_

Children who develop friendships are adept at using the feelings, ideas and actions of their social companions as a critical reference point for determining their behavior. What our friends do matters to us a great deal and we are constantly “(ii) \_\_\_\_\_” them. In its earliest stages, “(ii) \_\_\_\_\_” involves basing your actions on the immediate emotional reactions of your social partners. (ii) \_\_\_\_\_ rapidly moves to the “inside” world and becomes a continual discovery of the minds of our friends and family. Good friends develop mental “reference maps” of the interests, favorite activities, strengths and weaknesses of their pals. (後略)

【問題1】 下線部（ア）（イ）（ウ）（エ）（オ）を日本語に訳してください。

なお、下線部（ア）の文章に含まれる「survival value」は「生存価値」と記述してください。「生存価値」とは、「繁殖の成功に寄与するような行動的あるいは生物学的な特性やその強さ・度合い」のことを指します。

（ア）

---

---

（イ）

---

（ウ）

---

（エ）

---

（オ）

---

【問題2】 下線部（1）に当てはまる単語を英語と日本語で記入してください。

（英語）

---

（日本語）

---

【問題3】 下線部（i）（ii）に当てはまる単語の組み合わせとして、適切なものを1つ選んでください。

- ① （i） Inclusion           （ii） Mapping
- ② （i） Referencing       （ii） Inclusion
- ③ （i） Mapping           （ii） Enjoyment
- ④ （i） Enjoyment         （ii） Referencing
- ⑤ （i） Enjoyment         （ii） Mapping

問題2 次の英文を読んで、以下の問いに答えてください。

出題文章の著作権使用許可が下りなかったため、本件および設問を掲載していません。  
なお、問題文は「HArnold, K. (2014) . Behind the mirror Reflective listening and its Tain in the work of Carl Rogers. The Humanistic Psychologist, 42(4), 354-369.」より引用して抜粋。(約 350 語)

# ●修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験

## 【小論文】（試験時間：60 分）

**問題** 次の事例は、「自己肯定感を高めたい」と訴え、心理カウンセリング・センターに来談した 25 歳男性 A のインテーク記録（概要）です。この記録を読んで、次の 2 点について論じてください。このケースにおいて、①クライアントが訴える自己肯定感の問題をあなたはどのように理解しますか？ また、②このクライアントをどのように支援していくことが必要と考えますか？

### < インテーク記録（概要） >

A 氏、男性、25 歳

#### ■問題の経過、来談経緯

A さんは IT 企業に勤める若手社員で、中小企業の開発チームに配属されています。大学卒業後、初めての就職となったこの会社で順調に仕事をこなしてきました。しかしながら、最近になり自分が新規開発を任せられるようになってから、自分が失敗した場合に会社へ与える影響を極度に恐れるようになり、それがストレスとなっています。

ある日、友人から心理カウンセリングを受けてみることを勧められ、彼は思い切って心理カウンセリング・センターを訪れることにしました。A さんは、心理カウンセリングを受けることは初めてで不安もありましたが、自己肯定感を高め、仕事や日常生活でのストレスを軽減したいと望んでいます。

#### ■家族関係、生育歴

A さんは保守的な家庭で育ち、父親は厳格な会社役員、母親は専業主婦でした。彼には姉が一人おり、姉は常に優秀であり、父親から大いに期待を寄せられていました。A さんは父親から「お前も姉のようになれ」と頻繁に言われ、極度のプレッシャーを感じて育ちました。

彼の両親はあくまで子どもたちが成功を収めることに重きを置き、幼少期からピアノ、体操、幼児教室など様々な習い事に通わせました。しかし、「今日は、やりたくない」「休みたい」と子どもが訴えても、あまり配慮しない傾向がありました。その結果、A さんは周囲から認められなければ自己価値を感じられなくなったと言います。

#### ■各発達段階の様子

幼児期：幼いうちから競争心が強く認識されていました。姉と比較される中で、自らを良く見せるために何でも一人でやろうと努力していました。

小学校：友人が多く、元気で好奇心旺盛な子供でした。しかし、学級内での成績競争に焦り、できないことがあると極端に落ち込む傾向が見られました。

中学校：入学して以降、他の生徒との成績差に苦しむようになり、失敗を極度に恐れるようになりました。中学校 2 年生の時、授業中に発言したことを苦笑され、この時期から人前で意見を言うのが苦手になり始めました。

高校：競争が激しく、彼のプレッシャーはさらに増えました。特に姉が進学した有名大学に進むためのプレッシャーは大きかったとのこと。

大学：姉と同じ大学に進学しましたが、この達成感の陰には自分自身を認められない感情がありました。人間関係を広げるために複数のサークルに所属し、研究会やボランティア活動にも積極的に参加しました。また、いくつかの資格を取得しましたが、何かを達成しても満足感を得ることができませんでした。

入社後：同じ企業でも社員間のスキルレベルに大きな差があることから、A さんは自身を他より劣っていると感じ、自己肯定感が低下しています。彼は完璧でなければ自分を許せず、推進しているプロジェクトにおいて仮に小さなミスをするたびに自己非難の気持ちが強まります。彼は職場で自己表現が苦手である中でこの問題を抱え、他人と意見を共有する勇気も持たず、どんどん自己肯定感が低くなってしまっています。そして、その状態が彼の日常生活、特に対人関係や恋愛、友情にも影響を与えていると思われます。

**【解答欄】** （注）文章はこの解答欄に収めること。

# ●修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験

【専門科目】（試験時間：90 分）

問題 1 以下の 1～10 に当てはまる適切な専門用語を解答欄に記入してください。

- 防衛機制の 1 つで、不安を引き起こすような現実の事実を拒絶し、そこから目を逸らして現実を歪曲するものを（ ① ）という。
- Schachter, S., & Singer, J. は、刺激に対する生理的覚醒とその覚醒反応をどのように理解するか、によって情動が生起するという（ ② ）説を提唱した。
- 未学習の課題や複雑な課題を遂行する場面で、他者の存在が個人の遂行行動を抑制することを（ ③ ）という。
- 2 つの刺激が同時または継時的に呈示された時に、2 値の刺激の差異を感覚的に検出できる最小の値を（ ④ ）という。
- 同じ被験者群に対して、複数の条件の割り当てを行う研究計画を（ ⑤ ）計画と呼ぶ。
- 犬にメトロノームを聞かせ、直後に肉を与えることを繰り返すと、メトロノームの音だけで犬が唾液を出すように条件づけが成立した。この場合肉は（ ⑥ ）刺激と呼ばれる。
- 記憶課題において、リストの最初と最後の方の項目で再生率（成績）が高くなるように、項目の呈示順が成績に影響を及ぼすことを（ ⑦ ）効果という。
- Piaget, J. の提唱した用語で、前操作期の幼児が自分の視点や経験にとらわれ、自他の視点や経験を相対化してとらえることができないことを（ ⑧ ）という。
- ストレンジ・シチュエーション法場面で、安定したアタッチメントを示す子どものタイプは B タイプまたは安定型と呼ばれ、不可解で不安定なアタッチメントを示すタイプは（ ⑨ ）タイプまたは無秩序・無方向型と呼ばれる。（ ⑨ ）タイプは被虐待児に多いとされる。
- 双極性障害のうち（ ⑩ ）障害は、軽躁病エピソードとうつ病エピソードを有することが特徴である。

問題 2 次の用語の要点について、日本語で簡潔に説明してください。

- (1) 生物心理社会モデル
- (2) コンサルテーション
- (3) 交流分析
- (4) セルフモニタリング
- (5) マインドフルネス

問題3 幼稚園教諭向けの研修プログラム開発に取り組む公認心理師 A がまとめた以下の研究レポートを読み、問いに答えてください。なお、この研究レポートは、試験用の架空のものです。

### 【問題と目的】

インクルーシブ教育が推進されるなか、集団生活の中で発達障害のある幼児に対し効果的な支援が行われることは重要である。本研究では、発達障害のある幼児を担当する幼稚園教諭を対象とした研修講座を実施し、その前後での発達障害のある幼児の行動を観察することで、研修講座の効果を検証することを目的とする。

### 【方法】

対象児者は、B 幼稚園に在籍する、医師から ASD の診断を受けた4歳2ヶ月の幼児（以下 C 児）と、C 児が在籍する年中クラスの担任（以下 担任）であった。担任への事前の聞き取りから、担任も保護者も C 児の他害行動に最も困っていること、他害は「朝の会」で生じることが多く、着席して集中する時間を伸ばしたいと思っていることが明らかになった。そこで、観察対象を着席行動と他害とし、着席行動は C 児のお尻が椅子の座面に触れていること、他害は C 児が担任や他の園児に頭突きをすることと噛み付くことと定義した。担任は、筆者（A）が実施する研修講座を5月下旬から毎週1時間、計3回受講した。研修講座の内容は、発達障害の特性と関わり方、環境調整の方法などが中心であった。研修講座受講前と受講後のそれぞれ6日間、20分程度の「朝の会（朝のあいさつ、出欠確認、季節の歌）」にて、筆者（A）が観察と記録を行った。①着席行動は観察時間全体を15秒のインターバルに区切り、各インターバルにおける行動の生起を記録し、全インターバル数を母数として生起率を算出した。他害は観察時間内に生じた頻度を記録した。C 児の保護者及び担任に対し、研究の目的および内容、研究協力は自由意志であること、同意しなくても不利益を受けることは一切ないこと、C 児および担任個人が特定されない形で公表することを書面及び口頭で説明し、同意書によりインフォームド・コンセントを得た。

### 【結果と考察】

C 児の行動の変化を検討するため、ベースライン期（研修講座受講前）と介入期（研修講座受講後）の着席行動の生起率および他害の生起頻度を Figure 3-1、Figure 3-2 に示した。

Figure 3-1 各期における C 児の着席行動の生起率

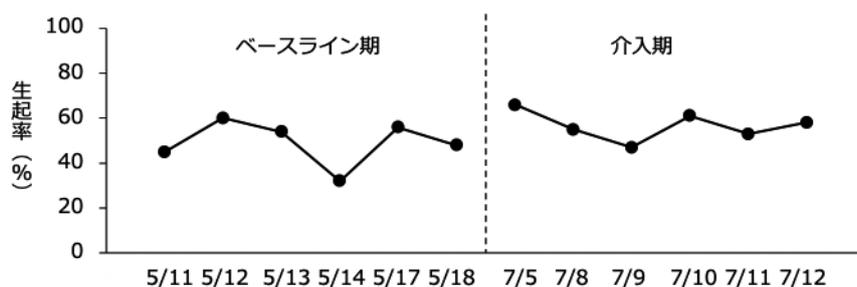
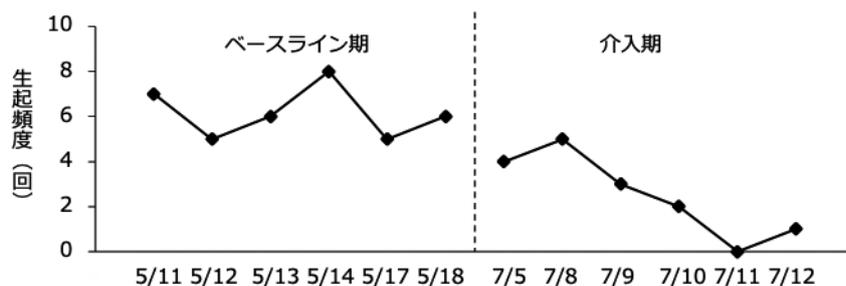


Figure 3-2 各期における C 児の他害の生起頻度



【問1】 下線部①の観察方法を表す言葉のうち、最も適切なものを以下の（ア）～（エ）から選んでください。

（ア）M-GTA           （イ）アクションリサーチ           （ウ）KJ法           （エ）時間見本法

【問2】 Aがこのレポートを公表したところ、「\_\_\_\_\_②」「③信頼性が高いとは言えない点が課題である」とコメントがありました。

（1）下線部②には、妥当性に関する文章が入ります。以下の（ア）～（エ）のうち、最も当てはまらないものを選んでください。

（ア）Aの独断ではなく、担任から聞き取りをした上で標的行動を決定し、社会的妥当性を高める手続きがとられた点は評価できる。

（イ）専門家ではない担任からの情報をもとに標的行動を決定したため妥当性が得られなかった点は、改善が必要である。

（ウ）事前の聞き取りから他害が最も生じやすい活動を把握し、その時間帯に観察を行ったことで、妥当性が高められた点は評価できる。

（エ）社会的妥当性を評価するため、C児と他児との相互作用が介入により変化するかどうかを確認する手続きを加えることが望ましい。

（2）下線部③について、行動観察の信頼性を高めるために必要なことを2点、述べてください。

【問3】 Figure 3-1 および Figure 3-2 から読み取れる結果と考察を書いてください。

【問4】 Aは今後、研修プログラムを発展させるべく、より多角的な分析や、統計的検定を活用した効果検証を検討しており、下にそのアイディアが挙げられています。これらのうち、統計処理の方法に誤りがあるもの一つを選んでください。

（ア）研修プログラム受講前後の教育上のストレスに差があるか検討することを目的とし、30名程度の幼稚園教諭に対し研修プログラム受講前と受講後に幼稚園教諭のストレス評価尺度を用いた質問紙調査を実施し、対応のあるt検定を実施する。

（イ）幼児の障害種により、他の園児との社会的相互作用が生じる場面が異なるか検討することを目的とし、ASDのある幼児とADHDのある幼児各5名程度を対象に、「体操」の時間と「工作」の時間における他の園児との相互作用の生起頻度を記録し、対応のない2要因分散分析を実施する。

（ウ）研修プログラム受講の有無により、幼稚園教諭の「賞賛」行動の生起頻度に違いがあるか検討することを目的とし、プログラムを受講した幼稚園教諭と受講していない幼稚園教諭各10名程度を対象に「賞賛」行動の生起頻度を記録し、カイ二乗検定を実施する。

（エ）研修プログラム受講の有無、クラスに在籍する障害のある幼児の人数、他の幼稚園教諭からのサポートの程度が支援の困難感にどのように関連しているか検討することを目的として、他の幼稚園教諭からのサポートおよび支援の困難感を測定する尺度を用い、幼稚園教諭200名程度を対象とした質問紙調査を行い、重回帰分析を実施する。

# ●修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験

【英語】（試験時間：60 分）

問題 1 以下の英文のうち、下線部を日本語に訳してください。

Adolescence is a time of increased risk for difficulties with emotional regulation given the intensification of responses that come with puberty and the structural changes in the brain that occur during this developmental period. Most adolescents have mastered basic skills that allow them to handle strong emotions encountered day to day. But these skills may be challenged in the face of a suicide. ① Young people may not yet have learned how to recognize complex feelings or physical indicators of distress, such as stomach upset, restlessness, or insomnia.

It is therefore important for schools to provide students with appropriate opportunities to express their emotions and identify strategies for managing them, such as in group and individual counseling sessions. Schools can also help students balance the timing and intensity of their emotional expression. Staff can use the information in the tool Tips for Talking about Suicide to help students understand and manage their emotions.

② If there are concerns about a student's emotional or mental health, the parent(s) or guardian(s) should be notified, and a referral should be made to a mental health professional for assessment, diagnosis, and possible treatment. Mental health resources that may be available in addition to school-based mental health professionals (e.g., school psychologists, counselors, social workers) include community mental health agencies, emergency psychiatric screening centers, and children's mobile response programs. Pediatricians and primary care providers can also be a source of mental health referrals. In addition, it may be useful for school staff to identify and reach out to families of students who are not coming to school.

③ When implementing these strategies, leadership will most likely be provided by the school psychologist, counselor, social worker, school nurse, and/or possibly a community mental health partner, all of whom may be members of the school's Crisis Response Team and likely trained in culturally competent counseling strategies. However, all adults in the school community can help by modeling calm, caring, and thoughtful behavior.

出典：Suicide Prevention Resource Center. (2018) *After a Suicide: A Toolkit for Schools, Second Edition*. (<https://sprc.org/online-library/after-suicide-toolkit-schools>) より抜粋

①

②

③

**問題2** 以下の英文を読んで、設問に解答して下さい。

出題文章の問題文は下記のリンク先を参照。American Psychological Association (2024). *Potential Risks of Content, Features, and Functions*.  
<https://www.apa.org/topics/social-media-internet/youth-social-media-2024> より抜粋

【問1】 文中の vulnerability とは、具体的にどのようなことを指しますか？ 本文中で挙げているものをできるだけ多く日本語で解答してください。

【問2】 Adolescence is a critical period for the development of more complex relationship skills, characterized by the ability to form emotionally intimate relationships. The adolescent years should provide opportunities to practice these skills through one-on-one or small group interactions. を日本語に訳してください。

【問3】 ソーシャルメディアにおける「いいね！」や「フォロワー数」を指標として重視することの問題として、この文章ではどのようなものを挙げていますか？ できるだけ多く日本語で挙げてください。

【問4】 以下の5つの文章から、本文で述べられていることと合うものを2つ選んで番号で解答してください。

- ① これまで心理学研究は、青少年のソーシャルメディアの使用のリスクを指摘してた。そしてそれらは、青少年のソーシャルメディアの使用を禁止あるいは強く制限すべきことを示している。
- ② AI が推奨するコンテンツは、青少年の安全と福祉を優先するように設計されることが重要である。
- ③ 青少年は、大脳辺縁系が発達途上であるため、衝動を抑える能力が未発達である。そのため短期的な利益に基づいた決定をしてしまい、長期的なリスクを過小評価してしまうことがある。
- ④ 2024年初頭の時点で、メディアプラットフォームは、若者を潜在的な害から守る方法について意義のある対策をいくつか進めてきた。
- ⑤ 青少年は、社会的フィードバックや刺激に対して高い過敏性があるため、仲間からのフィードバックや称賛、注意を引きつける行動に関心を向ける傾向がある。

# ●修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験

## 【小論文】（試験時間：60 分）

**問題** 以下の文章は、「山田奈保子・伊田勝憲（2003）. 大学生の知的好奇心尺度作成の試み（1）：信頼性の検討および課題価値との関連.（日本性格心理学会発表論文集 /12 巻）」の一部である。この研究の問題設定を受けて、大学生の知的好奇心尺度を作成するとして、どのような手順に沿えば良いのかを説明しなさい。その際、以下の用語を含めて文章化しなさい。

- 項目の作成
- 因子分析
- 信頼性・妥当性の検討

平成 14 年度の学校基本調査によれば、大学・短期大学進学率は 48.6%であり、高等学校等を修了した学生の約半数が高等教育機関に進学している。今後も大学等への進学率は上昇すると考えられるが、一方で大学側は少子化現象を受け、入試方法の多様化などを行っており、入学者の多様化が進行している。こうした傾向は今後も進行すると予測され、入学希望者全員入学時代と呼ばれる状況に近い将来訪れるとされている。こうした中で、大学生の全体的な学習意欲低下が問題となっており、大学生の学習意欲を支え、学びを促進する要因について探ることが求められている。そこでこのもっとも根底にあるものとして、大学生の知的好奇心についての概念を明確化する必要があるだろう。知的好奇心は、内発的動機づけの構成要素として扱われている（鹿毛，1995）が、知的好奇心そのものに焦点を当てた研究は多くない。知的好奇心について、波多野・稲垣（1975）は、快の感情を伴い自発的な認知や行動を伴うものであるとしている。またその内容について、退屈や情報への飢えによって生じ、はっきりした方向性をもたず幅広く情報を求める傾向である「拡散的好奇心」と、特定の環境の、特定の特性や関係を代表する情報の取得のみを追求する傾向である「特殊的好奇心」とに分類している。大学生は一定の学部で、専門的な知識の習得を目指すと考えられることから、拡散的好奇心よりも大学という場における「特殊的好奇心」を持つことが特に重要であろう。よって本研究では「特殊的好奇心」の概念を前提に、生活上のことがらや、大学の授業や課題に対し、快の感情を伴った自発的な認知や行動を想定し尺度を作成することとした。

**【解答欄】**（注）文章はこの解答欄に収めること。

# ●修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験

## 【専門科目】（試験時間：90 分）

問題 1 以下の 1～10 に当てはまる適切な専門用語を解答欄に記入してください。

- 【 ① 】法は、言葉の内包的意味を知るためにオスグッドが開発した多次元の評価法であるが、対象の印象やイメージを把握する方法として広く用いられるようになった。反対の意味をもつ形容詞を両極において、複数の尺度対にその対象がどの程度当てはまるかを 5 段階などで評価させる。
- 記憶障害を呈する疾患はさまざまであるが、広範囲にわたる高次認知機能の低下を呈する認知症とは異なり、記憶のみが選択的に障害されるのが健忘症である。事故や病気による脳損傷の時点よりあとに起こった出来事についての記憶障害を【 ② 】、脳損傷より前に起こった出来事についての記憶障害を【 ③ 】という。後者では、過去に遡るほど想起できる情報が増えるという時間的勾配が見られることが多い。
- 生体でみられる時間的周期性をもつ現象を生体リズムというが、環境の変化を遮断してもそのリズムが継続される。なかでも【 ④ 】は強固な現象であり広く知られる。ヒトを昼夜の区別がなく時刻の手がかりもない環境におくと、睡眠・覚醒やホルモン分泌が 24 時間よりやや長い周期で変動する。こうした【 ④ 】の中樞は、哺乳類では脳の視交叉上核にあるとされる。
- 国際労働機関は 1972 年、産業発展の副産物として労働者のクオリティ・オブ・ライフが低下していることを指摘し、その改善を提言した。その後の動向の 1 つが仕事と生活（家庭、余暇など）との調和であり、【 ⑤ 】と呼ばれる。わが国では働き方改革や性役割に関する意識変革によって、その実現がめざされている。
- 自閉症、知的障害もしくは後天性の脳損傷などの症状が明白でありながら、特定の狭い領域で天才的な能力を示す人々を【 ⑥ 】症候群という。【 ⑥ 】の卓越した能力の多くは、記憶、数学、芸術、規則性に関する技能に発揮される。その一方で、対人的・社会的スキルに大きな課題があることが通例である。
- ジェンドリンは、カウンセリング中にクライアントが主観的かつ具体的に感じている体験の流れを【 ⑦ 】と呼んだ。この流れの進展は、カウンセリングの成否の指標となるものである。
- 箱庭療法から着想を得て中井久夫によって考案された風景構成法は、画用紙に検査者が枠を書いた上で、受検者に川・山・田・道・【 ⑧ 】・木・人・花・動物・石の順にサインペンで描画してもらい、最後に描き足りないと思うものを描き加えた上で、クレヨンで色を塗ってもらう手続きをとっている。
- 特定の専門領域に精通した経験豊富な専門家が、原則的には同じ領域に従事する経験の浅い専門家に対して、知識・技能を高める助言や指導を行うことを【 ⑨ 】という。
- 【 ⑩ 】は、患者が症状によって意図せず結果的に得る心理的・社会的・経済的利益のことであり、症状の維持因子と考えられている。具体的には、周囲の気遣い、業務の減免、労災保険等の新たに生じる外的な利益が考えられる。

問題 2 次の用語の要点について、日本語で簡潔に説明してください。

- (1) 内発的動機づけ
- (2) 高次条件づけ
- (3) 自動思考
- (4) チーム学校
- (5) 発達最近接領域

問題3 ある企業で、勤続意欲を高める要因について検討するため、従業員を対象に組織関与と勤続意欲について尋ねる質問紙調査を実施しました。組織関与および勤続意欲について測定できる尺度を使用し、いずれも30点満点で得点化しました。Figure1は、一般社員（ $n=50$ ）と管理職（ $n=50$ ）の2群に分けてその結果を示したものです。また、要約統計量はTable1に示した通りです。これらのデータに基づいて、次頁の設問に教えてください。なお、調査内容は全て本試験用に作成された架空のものです。

Figure1 一般社員と管理職における組織関与と勤続意欲

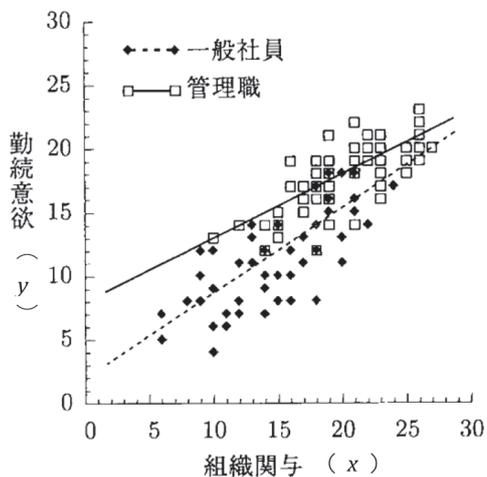


Table1 要約統計量

		平均	標準偏差	群ごとに求めた回帰直線
		( $\mu$ )	( $s$ )	( $\hat{y} = a + bx$ )
一般社員	組織関与 ( $x$ )	14.8	4.26	$\hat{y} = 1.97 + 0.60x$
	勤続意欲 ( $y$ )	11.0	3.63	
管理職	組織関与 ( $x$ )	20.0	3.99	$\hat{y} = 7.90 + 0.48x$
	勤続意欲 ( $y$ )	17.7	2.70	

【問1】 管理職の回帰直線は、一般社員の回帰直線より常に上に位置しています。このことからいえることを選択肢の中からすべて選び、その記号を解答欄に記入してください。

- a. 管理職になると、長く勤めたいと思うようになる。
- b. 管理職と一般社員の違いは、勤続意欲の高さである。
- c. どの管理職も、一般社員より勤続意欲が高い。
- d. 組織関与が同程度なら、管理職の方が一般社員よりも平均的に勤続意欲が高い。

【問2】 管理職の回帰直線は、一般社員の回帰直線に比べて、上には位置しているものの傾きが緩やかです。このことからいえることを以下の選択肢の中からすべて選び、その記号を解答欄に記入してください。

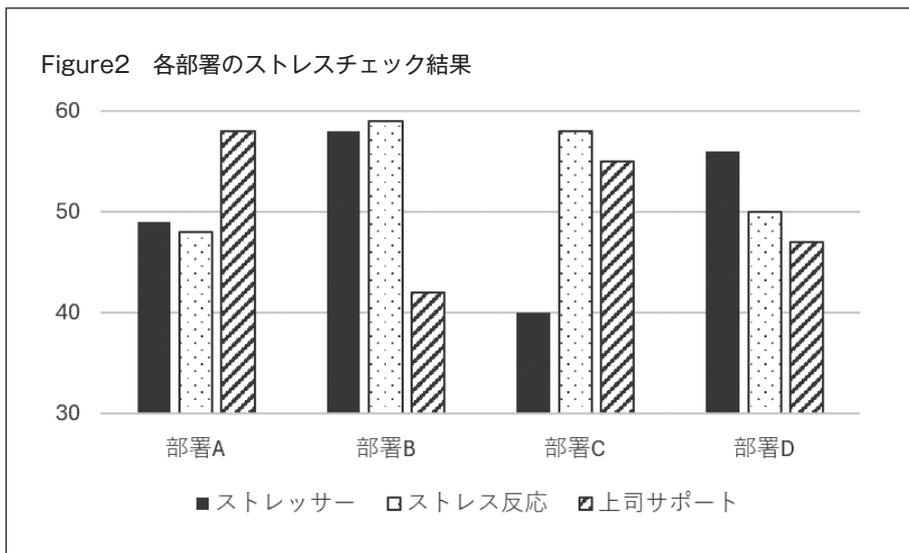
- a. 組織関与から勤続意欲を有効に予測できるのは、一般社員のみである。
- b. 勤続意欲に関する両群の平均値の差は、組織関与が高くなるにつれて縮まる。
- c. 一般社員は組織関与を高めれば辞めにくくなるが、管理職ではその効果があまりない。
- d. 組織関与と勤続意欲との関係のありかたが、管理職と一般社員とで異なる。

【問3】 管理職は、一般社員に比べて組織関与と勤続意欲の関連性が弱いといって良いでしょうか。相関係数を用いて比較した上で、次頁の解答欄に答えてください。なお、相関係数  $r_{xy}$  は、以下の式のような回帰係数と相関係数の関係を利用して求めます。

$$b = r_{xy} \frac{S_y}{S_x}$$

出典：南風原朝和・平井洋子・杉澤武俊．(2009)．心理統計学ワークブック：理解の確認と深化のために，有斐閣（一部修正）

この企業では、職場環境改善についてさらに検討するため、職業性ストレス簡易調査票（厚生労働省、2005）によるストレスチェックの集団分析結果も活用することになりました。Figure2は、部署A～Dにおけるストレスラー、ストレス反応、上司からのサポートについて、尺度得点を偏差値化して示したものです。これを見て以下の設問に答えてください。なお、調査結果は全て本試験用に作成された架空のものです。



【問4】 4つの部署のうち、もっとも健康度が高いと予想できる部署はどれですか。理由とともに説明してください。

【問5】 4つの部署のうち、優先的に職場環境の改善が必要だと考えられる部署を1つ選び、理由を明示したうえで改善策を提案してください。

参考：厚生労働省．(2005)．職業性ストレス簡易調査票を用いたストレスの現状把握のためのマニュアル．<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11201000-Roudoukijunkyoku-Soumuka/0000050920.pdf>．(2025/1/11)

# ●出題意図・解答例

## ■修士課程1期・学内推薦1期入学試験

### 【英語】

#### 問題1

#### 【解答】

解答欄と正答

問題1	ア	友情は、哲学や芸術と同じく、必要不可欠なものではない。それには生存価値はなく、むしろ生きるための価値を与えるもののひとつである。
	イ	仲間（友達）
	ウ	手に入れる（獲得する）
	エ	重度の社会性障害（重度の社会的な困難）
	オ	スキルの複雑な統合
問題2	英語	autism（autism spectrum disorder も可）
	日本語	自閉症（自閉スペクトラム症も可）
問題3	④	

#### 問題2

#### 【解答】

出題文章の著作権使用許可が下りなかったため、本件および設問を掲載しておりません。  
なお、問題文は「HArnold, K. (2014) . Behind the mirror Reflective listening and its Tain in the work of Carl Rogers. The Humanistic Psychologist, 42(4), 354-369.」より引用して抜粋。（約 350 語）

#### 【出題意図】

英語で書かれた心理学の論文や文献を読む力を調べる問題である。特に、発達障害や心理療法の注意点について、その基本的な知識を用いながら読解や翻訳することを求めた。

#### 【小論文】

評価の基準

- (1) 解答用紙の 3/4 以上が埋められているか。（形式的評価）
- (2) 自己肯定感に関連する心理学的用語（自尊感情、自己価値、自己受容、本来感など）について正しく理解できているか。
- (3) その上で、本ケースでクライアントの訴えている問題や支援方法を、自己肯定感の観点で説明できているか。
- (4) 論述内容全体について、表現の適切さ、論の整合性があるか。

参考

近藤卓（2015）乳幼児期から育む自尊感情—生きる力、乗り越える力 エイデル研究所

教育再生実行会議（2017）自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子供を育む教育の実現に向けた、学校、家庭、地域の教育力向上 [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/gijiroku/\\_icsFiles/](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/gijiroku/_icsFiles/)

#### 【出題意図】

近年の臨床心理学において重要な概念・トピックに関して、十分な知識及び論述する能力があるかを問う問題である。

## 【専門科目】

### 問題1

#### 【解答】

- ①否認      ②情動の二要因      ③社会的抑制      ④弁別閾／丁度可知差異      ⑤被験者内  
⑥無条件      ⑦系列位置      ⑧自己中心性      ⑨D      ⑩双極Ⅱ型

### 問題2

#### (1) 生物心理社会モデル

生物心理社会モデル (biopsychosocial model) は、精神医学者のジョージ・エンゲル (George L. Engel) によって、1977年に提唱された。健康状態を、生物・心理・社会的な要因のシステムとして包括的に捉えようとする考え方を基本とする。さまざまな健康の障害には、遺伝、脳、神経、内臓など身体の問題だけでなく、パーソナリティ、個人の信念、コーピング、感情など心理的側面、そしてさらにそれを取り巻く経済、社会、文化、宗教などといった社会的側面がすべて寄与しており、それらが相互に関連し、相互に影響を与え合っていることを指摘する。

参考：野島一彦 (監修) (2024). 臨床心理学中事典 遠見書房 pp.264-265.  
子安増生他 (監修) (2021). 現代心理学辞典 有斐閣 p.445.

#### (2) コンサルテーション

コンサルテーション (consultation) とは、ある領域の専門家であるコンサルティが、支援の中で起こる困難について、異なる領域の専門家コンサルタントに相談し、助言を受けて、コンサルティの業務の中での効果的・効率的な問題解決を目指す取り組みである。例えば、学校場面のコンサルテーションでは、教員がスクールカウンセラーに対して、児童生徒の支援についての助言を求める場合などがある。

参考：野島一彦 (監修) (2024). 臨床心理学中事典 遠見書房 p.145.

#### (3) 交流分析

交流分析 (transactional analysis) は、1950年代後半にアメリカの精神科医エリック・バーン (Eric Berne) によって提唱された。交流分析とは、個人の自我状態や交流 (やりとり) の分析に関する理論とそれに基づく心理療法の総称である。パーソナリティの発達、構造、機能に関する理論、交流のパターンに関する理論、人生の立場や生き方に関する理論などから構成される。人は成長し変化するという視点に立った心理療法の一つである。「親 (Parent, P)」「批判的親 (CP) と養育的親 (NP) に分かれる)、「成人 (Adult, A)」、「子ども (Child, C)」「自由な子ども (FC) と順応した子ども (AC) に分かれる) の自我状態によるパーソナリティの理解が、交流分析の基本的な構造分析である。

参考：野島一彦 (監修) (2024). 臨床心理学中事典 遠見書房 p.132.

#### (4) セルフモニタリング

セルフモニタリング (self-monitoring) とは、社会的な場面における他者の行動や状況を手掛かりに、自分の行動を統制する傾向。あるいは自身に生じている行動や感情、思考等の変化、および関連する環境の変化とそれらの相互作用を観察する手続きもしくは行為。

学習場面のほか、カウンセリング場面においても用いられることがある。

参考：野島一彦 (監修) (2024). 臨床心理学中事典 遠見書房 p.269.  
下山晴彦 (編集代表) (2014). 誠信心理学辞典 (新版) 誠信書房 p.232.

#### (5) マインドフルネス

ジョン・カバットジン (Jon Kabat-Zinn) による「意図的に、現在の瞬間に、評価・判断せずに注意を向けることで現れる気づき」が、マインドフルネス (mindfulness) の定義としてよく用いられる。マインドフルネスは行動療法の第三の潮流の特徴として扱われることが多いが、産業、教育、司法矯正の領域などでの注目と適用が高まるにつれ、心身の健康を維持・増進する一技法として、マインドフルネス瞑想等が取り入れられることも多い。

参考：野島一彦 (監修) (2024). 臨床心理学中事典 遠見書房 p.412.

### 問題3

問1 (エ)

問2

(1) (イ)

(2)

- ・観察を、Aを含め訓練され独立した2名以上で行い（または観察場面をビデオ録画しておき、その一部をA以外の者が独立して観察を行い）、一致率（または観察者間一致；AOI）を算出する（AとA以外の観察者で同一の記録方法を用いる旨の記述は、点数を一部与える）
- ・1事例実験デザインではなく、複数事例とする
- ・反応性が高くなるように、Aが教室で観察するのではなく、録画機器を使用した観察にする

問3

介入期において、着席行動の生起率はやや上昇したものの、大きな伸びは認められなかった。C児の好みや、活動に楽しく参加できているかどうかを踏まえた「朝の会」の内容ごとの分析、時間経過に伴う変化の検討が必要であると考えられる。一方、介入期において他害の頻度は減少した。研修講座の受講により担任の関わり方が変化したことが要因と考えられ、本研修プログラムの一部に効果があることが示唆された。

問4 (イ)

参考資料

三浦麻子監修・佐藤寛編著（2018）なるほど！ 心理学観察法

小林重雄監修、山本淳一・加藤哲文編（1997）応用行動分析学入門－障害児者のコミュニケーション行動の実現を目指す 学苑社  
五百蔵恵・山口一（2014）発達障害を持つ子どもを育てる母親のレジリエンスおよびソーシャルサポートが育児困難感および抑うつに及ぼす影響について. 桜美林大学心理学研究, 5

木曾陽子（2016）未診断の発達障害の傾向がある子どもの保育や保護者支援と保育士の心理的負担との関係―バーンアウト尺度を用いた質問紙調査より―. 保育学研究,

石川菜津美・石塚祐香・山本淳一（2018）就学前の発達障害児に対する「授業参加」支援プログラムの開発と評価. 特殊教育学研究

【専門科目】

1. 広範な領域から、重要かつ基本的な用語の知識があるかを問う問題である。
2. パーソナリティ、心理尺度、発達、臨床心理学など広い領域から、重要かつ基本的な用語の知識および論述する能力があるかを問う問題である。
3. 研究に関する重要で基本的な知識・論述する能力があるかを問う問題である。

## ■修士課程2期・学内推薦2期入学試験

### 【英語】

#### 出題意図

英語で書かれた心理学の論文や文献を読む力を調べる問題である。特に、自殺や青少年の精神的健康などについて、その基本的な知識を用いながら読解や翻訳することを求めた。

#### 問題1

- ①若者はまだ複雑な感情や胃のムカつき、焦燥感、不眠のような苦痛の身体的表れを自覚する方法を教わっていないかもしれない。
- ②もしもある生徒に情動や精神的健康に懸念があれば、両親または保護者はそのことを知らされるべきであり、アセスメントや診断、得られる治療のために精神保健の専門家への紹介がなされるべきである。
- ③これらの方針の実施にあたっては、その学校の危機対応チームに所属しており文化的に適切なカウンセリング方針について研修を受けたであろう学校心理士やカウンセラー、ソーシャルワーカー、学校看護師または可能ならば地域の精神保健協力者らが主導して行われるであろう。

#### 問題2

##### 【問1】

社会的フィードバックや社会的刺激に対する過敏性。

仲間からの影響を受けやすく、感受性が高く、社会的拒絶に敏感であること。

衝動制御能力が未成熟であること。

##### 【問2】

思春期は、感情的に親密な関係を築く能力に特徴づけられる、より複雑な対人関係スキルの発達に重要な時期である。この時期には、1対1または小グループでの相互作用を通じてこれらのスキルを練習する機会が提供されるべきである。

##### 【問3】

フォロワー数や「いいね!」、閲覧回数といった指標を重視することは、一方的で非人格化した相互作用に青少年の関心を集中させてしまい、より健全で心理的に有益な対人関係スキルを発達させる大切な時期にその意欲を削ぐ可能性がある。

また「いいね!」とフォロワー数は、反復的な行動を引き起こす神経領域を活性化するため、大人よりも青少年の態度や行動に大きな影響を与える可能性がある。青少年は、肯定的な社会的フィードバックと他人からの拒絶の双方に特に敏感であるため、これらの指標を使用してソーシャルメディア・プラットフォームへの関与を維持することは、青少年の脆弱性につけ込み、問題のある使用につながる可能性がある。

##### 【問4】

- ② ⑤

## 【小論文】

### 出題意図

近年の臨床心理学において重要な概念・トピックに関して、十分な知識及び論述する能力があるかを問う問題である。

7月16日まで公開していました修士課程2期・学内推薦2期入学試験【小論文】の過去問において、本問題とは無関係の文章が掲載されておりました。  
該当の文章は削除させていただきます。

2025年7月16日 更新

## 【専門科目】

### 出題意図

1. 広範な領域から、重要かつ基本的な用語の知識があるかを問う問題である。
2. パーソナリティ、心理尺度、発達、臨床心理学など広い領域から、重要かつ基本的な用語の知識および論述する能力があるかを問う問題である。
3. 研究に関する重要で基本的な知識・論述する能力があるかを問う問題である。

### 問題1 <穴埋め>

1. 【セマンティック・ディファレンシャル／SD／意味微分】
2. 【① 前向き健忘】  
【② 逆向性健忘】
3. 【概日リズム／サーカディアン・リズム】
4. 【ワーク・ライフ・バランス】
5. 【サヴァン】
6. 【体験過程】
7. 【家】
8. 【スーパービジョン】
9. 【疾病利得】

### 問題2 <語句説明>

1. 内発的動機づけ  
動機づけのうち、賞罰など（外的要因）によって行動が動機づけられることを外発的動機づけというのに対して、興味・関心や知的的好奇心など、人間の内側から生じるもの（内的要因）で、活動そのものが目的となっている場合を内発的動機づけという。環境との相互作用のもとで自己目的的に行動が生起し、維持され、発展するプロセスのことである。（動因低減説への反論、能動的な存在としての人や生物、デシ（Deci）による研究、過剰正当化効果等について記されると加点。）
2. 高次条件づけ  
ある条件刺激（CS1）と無条件刺激（US）を対提示し、CS1に対して古典的条件づけを形成した後、新たな別の条件刺激（CS2）にそのCS1をUSの代わりとして対提示すると、CS2に対して新たな条件づけを形成することができる。CSとUSの直接対提示により生じるものは一次条件づけ、一次条件づけが生じたCSをUSの代わりに用いて形成されるものを二次条件づけとよぶ。二次条件づけや感性予備条件づけなど、USとの直接対提示ではなく、他のCSを介して生じる条件づけを総称して高次条件づけとよぶ。
3. 自動思考  
ベックが開発した認知療法の中心的概念の1つであり、意図せず自動的に頭に浮かぶ思考や心理的イメージのこと。ソクラテス式対話による「導かれた発見」をベースとした認知再構成法により、生活や感情状態の改善につながる思考パターンを自ら発見し、感情・行動・身体反応との機能的な関連を理解することで、修正することができる。
4. チーム学校  
「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）」により、これまでの学校や学校組織のあり方を改善し、児童生徒の学力などの多様な能力を効果的に高め、学校生活を支援していくために、2015年に中央教育審議会により提案された概念。チーム学校には、校内体制の強化と学校・家庭・地域の連携強化の2つの側面がある。
5. 発達の最近接領域  
ヴィゴツキーが提唱した概念。子どもの知的発達水準には、自力で問題解決できる現下の発達水準と、他者からの援助や協同によって達成が可能になる2つの水準があるが、その水準間の範囲のことを言う。教育は、この範囲に適合したものである必要があることはもちろん、そうした潜在的な可能性の領域を作り出すものでなければならない。

### 問題 3

問 1

d.

問 2

b. と d.

問 3

一般社員における相関係数は .704、管理職における相関係数は .709 であり、相関係数の値からは、両者の間で組織関与と勤続意欲の関連性は同程度である。

よって、管理職のほうが一般社員よりも関連性が弱いとはいえない。

問 4

部署 A

グラフより、ストレッサー、ストレス反応ともに 50 を下回り、上司からのサポートが 4 部署の中で最も高いことが読み取れる。よって、従業員に対する業務負荷が低く、ストレス反応も低い状態であり、上司からの支援も十分に受けられていることが予想できる。

問 5

部署 B

グラフより、ストレッサー、ストレス反応ともに約 60 と高値であり、上司からのサポートが平均を下回っている。さらに、ストレッサー、ストレス反応はいずれも 4 部署の中で最も高く、上司からのサポートは最も低い。よって、業務負荷およびストレス反応が高く、上司からの支援も不足している状況が伺えるため、優先的に職場環境の改善が必要である。

改善策として、業務内容や役割分担の見直し、上司への研修や指導による上司サポートの改善、時間外労働時間の確認と産業医等による個人面談の実施、有給休暇取得の奨励、等が挙げられる。

参考：厚生労働省。(2005)。職業性ストレス簡易調査票を用いたストレスの現状把握のためのマニュアル。https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11201000-Roudoukijunkkyoku-Soumuka/0000050920.pdf。(2025/1/11)

出典：子安増生・丹野義彦・箱田裕司(監)(2021)。現代心理学辞典 有斐閣を一部改変。